

Ⅲ平成27年 2月 大王製紙(株) 産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

1. 総括 産業廃棄物処理施設の維持管理における基準値超過はありませんでした。

2. 維持管理の状況に関する情報

	三島工場								可児工場							
	11号ボイラー			15号ボイラー			20号ボイラー		23号ボイラー			4号ボイラー				
	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	燃え殻	紙くず
1) 廃棄物の種類と処分量																
(1) 産業廃棄物の種類																
(2) 処分量 (トン/月)	8,111	65	99	1,908	50	126	31	13,191	127	3,582	0	40	4,859	84	112	0.0
2) 産業廃棄物処理施設での維持管理状況																
(1) 燃焼ガス温度、集じん器前燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度																
① 燃焼ガス温度 (°C)	839			1022			874		975			867				
(維持管理基準) (°C)	(800以上)			(800以上)			(800以上)		(800以上)			(800以上)				
② 集じん器前燃焼ガス温度 (°C)	179			191			190		178			196				
(維持管理基準) (°C)	(おおむね200以下)			(おおむね200以下)			(おおむね200以下)		(おおむね200以下)			(おおむね200以下)				
③ 排ガス中の一酸化炭素濃度 (ppm)	53			21			14		15			18				
(維持管理基準) (ppm)	(100以下)			(100以下)			(100以下)		(100以下)			(100以下)				
④ 排ガスを採取した位置	別図1			別図1			別図1		別図2			別図3				
⑤ 測定結果が得られた日	平成27年3月1日			平成27年3月1日			平成27年3月1日		平成27年3月1日			平成27年3月1日				
* 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集じん器に流入する燃焼ガスの温度、排ガス中の一酸化炭素の濃度は、全て連続測定しており、記載している数値は、月間平均値です。																
なお、連続測定のトレンドグラフは、三島工場及び可児工場で閲覧可能です。																
(2) 排ガス中のダイオキシン類濃度																
① ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³ N)	0.001未満			0.001未満			0.033		0.062			0.0083				
(排出基準) (ng-TEQ/m ³ N)	(0.1以下)			(0.1以下)			(0.1以下)		(0.1以下)			(0.1以下)				
② 排ガスの採取日	平成26年10月15日			平成26年8月12日			平成26年9月25日		平成26年7月7日			平成26年10月28日				
③ 排ガスを採取した位置	別図1			別図1			別図1		別図2			別図3				
④ 測定結果が得られた日	平成26年11月19日			平成26年9月17日			平成26年10月9日		平成26年8月5日			平成26年12月3日				
* ダイオキシン類濃度は、最新のデータです。採取日から測定結果が得られる日まで、約1ヶ月かかります。																
(3) ばいじん除去の実施年月日																
① 冷却設備	平成26年9月29日 ～ 10月10日			平成27年2月13日 ～ 2月23日			平成27年1月12日 ～ 1月18日		平成27年1月29日 ～ 2月5日			平成26年11月3日 ～ 11月11日				
② 集じん器	〔電気集じん器 連続除去〕			〔電気集じん器 連続除去〕			〔電気集じん器 連続除去〕		〔バグフィルター 連続除去〕			〔電気集じん器 連続除去〕				
③ 湿式スクラパー	平成26年10月3日 ～ 10月4日			平成27年2月16日 ～ 2月17日			平成26年1月13日 ～ 1月14日		平成27年2月4日 ～ 2月6日			設備無し				
* 記載した年月日は、冷却設備、湿式スクラパーに堆積したばいじんを除去した日を示しています。																

(4)ばい煙濃度

①硫黄酸化物(K値)

最大値		0.14	0.09	0.14	0.12	2.01
平均値		0.01	0.03	0.02	0.02	0.49
(排出基準)		(6以下)	(6以下)	(6以下)	(6以下)	(11.5以下)

②窒素酸化物(濃度)

最大値	(ppm)	153	150	176	202	180
平均値	(ppm)	127	123	159	178	110
(排出基準)	(ppm)	(300以下)	(300以下)	(250以下)	(250以下)	(250以下)

③排ガスの採取日

連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
------	------	------	------	------

④排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

⑤測定結果が得られた日

平成27年3月1日	平成27年3月1日	平成27年3月1日	平成27年3月1日	平成27年3月1日
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

* 硫黄酸化物(K値)は、連続測定している硫黄酸化物濃度の1時間平均値の月間最大値と平均値から算出した数値です。K値に単位はありません。

K値は、硫黄酸化物排出量を有効煙突高さの2乗で割った値で、排出基準として大気汚染防止法で定められた数値です。

硫黄酸化物排出量は、地域別に定められたK値で規制されており、K値が小さいほど規制が厳しくなります。

(5)ばいじん濃度

①ばいじん濃度

(g/m ³ N)	0.001未満	0.002	0.007	0.001未満	0.040
(排出基準)	(g/m ³ N)	(0.08以下)	(0.08以下)	(0.3以下)	(0.3以下)

②排ガスの採取日

平成27年2月5日	平成27年2月5日	平成27年2月12日	平成27年2月12日	平成26年12月24日
-----------	-----------	------------	------------	-------------

③排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

④測定結果が得られた日

平成27年2月18日	平成27年2月18日	平成27年2月18日	平成27年2月18日	平成27年1月9日
------------	------------	------------	------------	-----------

* ばいじん濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。

(6)塩化水素濃度

①塩化水素濃度

(mg/m ³ N)	1.6	0.7	0.7	0.3	28
(排出基準)	(mg/m ³ N)	(700以下)	(700以下)	(700以下)	(700以下)

②排ガスの採取日

平成27年1月9日	平成27年1月9日	平成27年1月9日	平成27年1月9日	平成26年12月24日
-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

③排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

④測定結果が得られた日

平成27年1月30日	平成27年1月30日	平成27年1月30日	平成27年1月30日	平成27年1月9日
------------	------------	------------	------------	-----------

* 塩化水素濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。